

Note: This document has been translated from the Japanese original for reference purposes only.
In the event of any discrepancy between this translated document and the Japanese original,
the original shall prevail.



December 4, 2025

Company name: I-ne Co., Ltd.
Name of representative: Yohei Onishi, Representative Director,
President and CEO
(Securities code: 4933; Tokyo Stock
Exchange Prime Market)
Inquiries: Yoshinori Hara, Director, Executive
Officer and CFO
(Telephone: +81-6-6443-0881)

**Announcement of Winning the Grand Prize
at the “Management DX Award presented by Loglass”**

We hereby announce that our company has been selected as the Grand Prize recipient of the
“Management DX Award presented by Loglass,” organized by Loglass Inc. (Head Office: Minato-ku,
Tokyo; President & CEO: Tomoya Fukawa).

For further information, please refer to the attached press release. We have published a detailed account
of the initiatives that led to our receiving the Grand Prize in the note available at the link below. We would
be grateful if you would kindly take a moment to read it.

Link: https://note.com/ine_pr/n/nefd3da5b46c6

2025 年 12 月 4 日

I-ne、【経営管理 DX アワード 大賞受賞】

株式会社 I - n e (本社：大阪市中央区 代表取締役：大西洋平 東証プライム：4933) は、株式会社ログラス (本社：東京都港区、代表取締役 執行役員 CEO：布川友也) が主催する「経営管理 DX アワード presented by Loglass」において、【経営管理 DX アワード大賞】を受賞しました。また、大賞受賞に至った取り組みの詳細について、下記リンクの note にて公開しておりますので、是非ご一読ください。

記事：https://note.com/ine_pr/n/nefd3da5b46c6



株式会社 I - n e (左から経営管理本部本部長 杉江 徹郎、取締役執行役員 CFO 原 義典)、審査員長 琴坂 将広 氏

審査員からのコメント

◆琴坂 将広 氏 (慶應義塾大学 総合政策学部 教授)

事業収益性改善を目指し、組織を再編、FP&A 機能を確立。

会計人材以外にも活用する基盤を整備、「このアクションを取ったから、この利益となった」の因果関係がより見えやすい状態を実現されていた。

◆佐藤 克宏 氏 (早稲田大学大学院経営管理研究科 教授 / 京都大学経営管理大学院 客員教授)

経営管理の効率化や可視化を実現のうえ、現場での事業改善にまでつなげていることは評価できる。

今後、更なる事業成長にまでつなげられると、さらに良い。

◆石橋 善一郎 氏（千葉商科大学大学院会計ファイナンス研究科 教授 / 一般社団法人日本 CFO 協会 FP&A プログラム運営委員会 委員長）

グローバル企業の FP&A 組織と FP&A プロセスを日本企業で実践されている点を高く評価します。

営業利益率改善への取り組み、本社 FP&A 組織と事業部 FP&A 組織の設置、FP&A 人材の育成など、FP&A に関する包括的かつ動的な取り組みが素晴らしいです。

◆布川 友也 氏（株式会社ログラス 代表取締役 執行役員 CEO）

「経営管理 DX の主役は『組織』である」という明確な哲学に基づき、テクノロジー導入を組織変革と完全に一体化させた、極めて戦略性の高い取り組みです。

単なるシステム導入に終わらず、事業部門出身者を FP&A に配置するという組織設計の工夫により、分析と現場のアクションを直結させ、営業利益率を 10.6%へと飛躍的に向上させた成果は圧巻です。

さらに、成功体験に安住せず、事業フェーズの変化に応じて管理粒度を戦略的に「シンプルにする」という自己変革の視点を持っている点は、経営管理が常に進化し続けるべきものであるという本質を捉えており、他社の追随を許さない先進性と言えます。

テクノロジー、組織、人材、そして哲学が見事に融合した、経営管理 DX の理想形を体現したモデルケースであり、大賞に相応しい事例であると評価しました。

I-ne 取締役執行役員 CFO 原 義典からのコメント

この度の受賞は、FP&A 組織の構築と活動が評価された結果であり、大変光栄に思います。テクノロジーの導入以上に事業解像度の高い FP&A 組織を作り上げ、分析を現場のアクションに直結させ、全社最適の利益創出エンジンを確立したことを評価いただいたと思います。

今後もこの再現性の高い仕組みを進化させ、事業構造を変革し、持続的な事業成長にコミットしてまいります。

「経営管理 DX アワード presented by Loglass」審査基準

本アワードが提唱する「攻めの経営管理」に不可欠と考える以下の基準に基づき、革新的かつ組織的な取り組みを総合的に評価。

1. **会社・事業成長への貢献**：経営管理が事業成長や経営判断にどれだけ直接的に貢献しているか
2. **経営分析の高度化**：多軸な切り口やデータの範囲・粒度の細かさにより、高度な分析を実現しているか
3. **組織的な取り組み・浸透度**：会社としての経営管理 DX への投資・取り組みスタンスがどれだけ積極的なか
4. **先進性・革新性**：業界を考慮した時の先進度合い、AI への先行的な投資をしているか

「経営管理 DX アワード」特設サイト：<https://www.loglass.jp/keieikanri-dx-award/2025>

「Loglass 経営企画 NEXT 2025 to 2026」特設サイト：<https://www.loglass.jp/keieikikaku-next-2025-to-2026>

会社概要

- ・ 会社名：株式会社 I - n e （アイエヌイー）
- ・ 設 立：2007 年 3 月
- ・ 代表者：代表取締役社長 大西 洋平
- ・ 所在地：〒541-0058 大阪府大阪市中央区南久宝寺町 4-1-2 御堂筋ダイビル 8 階
- ・ URL : <https://i-ne.co.jp/>

【主な取り扱いブランド】

- ・ BOTANIST <https://botanistofficial.com/>
- ・ SALONIA <https://salonia.jp/>
- ・ YOLU <https://yolu.jp/>
- ・ DROAS <https://droas.jp/>
- ・ Qurap <https://qurap.jp/>
- ・ Tearal <https://tearal.jp>
- ・ BUBLOS <https://bublos.jp/>
- ・ ReWEAR <https://rewear-official.jp/>

< 報道関係の方からのお問い合わせ先 >

■株式会社 I - n e 広報室

〒541-0058 大阪府大阪市中央区南久宝寺町 4-1-2 御堂筋ダイビル 8 階

TEL：06-6443-0904／E-mail：press@i-ne.co.jp